

NIPT 等の出生前検査に関する専門委員会の設置について

令和2年10月26日

1. 設置の趣旨

出生前検査については、平成10年に出生前診断に関する専門委員会において、「母体血清マーカー検査に関する見解」が取りまとめられたが、その後、母体血を用いた非侵襲性出生前遺伝学的検査（NIPT（Non Invasive Prenatal genetic Testing））が開発された。NIPTの実施体制については、日本産科婦人科学会が策定した指針を受け、平成25年度から関係学会等の連携の下、日本医学会の認定制度に基づき実施されてきた。

これらの出生前検査を行うに当たっては、妊婦の意思決定に当たり適切な情報提供が実施されているか、妊婦の不安・葛藤に寄り添った相談支援体制が整備されているか、などの課題がある。また、NIPTについては、ここ数年、認定施設以外の医療機関での検査が増加し、適切なカウンセリングが行われていない等の問題が指摘されている。

このようなことから、NIPTをはじめとした出生前検査についての検討を目的とし、厚生科学審議会科学技術部会下に本委員会を設置する。

2. 検討事項等

- ・ 出生前検査の適切なあり方や実施体制等について
- ・ 妊婦への情報提供のあり方や遺伝カウンセリング等の相談支援体制について
- ・ 胎児期からの切れ目ない小児医療や福祉施策との連携について
- ・ その他、出生前検査に関わる課題について

3. 構成

医療関係者（産婦人科、小児科等）、法学・生命倫理の専門家、障害者福祉分野の専門家、その他の有識者等20名程度で構成する。

4. 庶務

本専門委員会の庶務は、厚生労働省子ども家庭局母子保健課において行う。

NIPT 等の出生前検査に関する専門委員会 構成員名簿（五十音順、敬称略）

氏名	所属等
飯野正光	日本医学会／日本医学会連合副会長
河合蘭	出産ジャーナリスト
北川聡子	社会福祉法人麦の子会理事長
小崎健次郎	慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター教授
櫻井浩子	東京薬科大学薬学部生命・医療倫理学研究室教授
玉井浩	大阪医科薬科大学顧問
柘植あづみ	明治学院大学副学長・社会学部教授
堤正好	一般社団法人日本衛生検査所協会理事・顧問
中込さと子	信州大学医学部保健学科看護学専攻教授
中西和代	たまごクラブ編集部編集長
野崎亜紀子	京都薬科大学薬学部基礎科学系一般教育分野教授
平原史樹	横浜市病院経営本部長
兵頭麻希	母と子のまきクリニック院長
福井次矢	東京医科大学茨城医療センター病院長
堀優子	北九州市子ども家庭局子育て支援部子育て支援課母子保健係長
三上幹男	東海大学医学部専門診療学系産婦人科学教授
横野恵	早稲田大学社会科学総合学術院社会学部准教授
渡辺弘司	日本医師会常任理事
和田和子	大阪府立病院機構大阪母子医療センター新生児科主任部長